

# 基本から 学ぶ 発達障害 (神経発達症)

4 / 25  
(土)

## 企画講師

筑波大学 名誉教授  
宮本 信也 先生

日時 2026年4月25日 (土)  
10時～16時35分

費用 8,500円 (税込)

定員 80名

会場 明治安田こころの健康財団 講義室  
住所：東京都豊島区高田3-19-10  
JR山手線、西武新宿線、  
東京メトロ東西線「高田馬場駅」より  
徒歩約7分

申込 財団HPより申し込み受付  
期限：4月23日 (木) まで

## ベーシック講座 I

◆当財団は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として  
(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を  
受けております <承認期間:2022年7月2日～2027年7月1日 承認番号:20210392>

◆当講座は(公社)日本公認心理師協会より「認定専門公認心理師」の  
認定にかかるテーマ別研修として承認されております <承認番号:25A-0163、分野共通、5単位>

◆当講座は特別支援教育士[S.E.N.S]、特別支援教育士スーパーバイザー[S.E.N.S-SV]更新  
ポイント認定講座 <S.E.N.S 第25-174号、266001>



# 基本から学ぶ発達障害（神経発達症）

発達障害のある子どもでは、発達障害の特性を背景として生活上の困難を生じることが珍しくありません。生活上の困難は、主に能力面の問題と行動面の問題に分けることができます。このような外に現れる問題に注目しますと、発達障害は、能力面の問題が主なタイプと行動面の問題が主なタイプの2つに分けることができます。能力面の問題を主とする発達障害は、知的発達症、コミュニケーション症群、限局性学習症、発達性協調運動症の4つが該当します。行動面の問題を主とする発達障害は、自閉スペクトラム症と注意欠如多動症の2つになります。この2つのタイプは、支援で目指すものが異なりますので、支援の方法論も違ってきます。発達障害の適切な理解と支援のためには、こうした違いを理解しておくことが重要です。

この講座では、発達障害のこれら2つのタイプについて、その特徴や生じる困難さ、そして、支援の考え方について解説します。

【企画講師】 宮本 信也

	時間	テーマ / 講師
プログラム	10:00~11:40	発達障害（神経発達症）とは 能力問題を主とする発達障害
	11:40~12:40	～ 休憩 ～
	12:40~14:20	行動問題を主とする発達障害 二次障害について
	14:35~16:35	発達障害（神経発達症）への支援 質疑応答

## <注意事項>

- ・時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください
- ・特別支援教育士[S.E.N.S]、特別支援教育士スーパーバイザー[S.E.N.S-SV]の更新ポイント対象の方はIDカードをご持参ください

【主催】 公益財団法人明治安田こころの健康財団

【照会先】 〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10

E-mail: [moushikomi@my-kokoro.jp](mailto:moushikomi@my-kokoro.jp)

TEL:03-3986-7021 FAX:03-3590-7705